

進路だより

# 飛翔

No. 7 平成22年11月

波崎第四中学校進路指導部発行

この頃はめっきり日が短くなり、朝晩は冷え込むようになってきました。6日（土）には文化祭が開催され、学級発表の準備や合唱の練習に頑張っています。文化祭後、11月15日（月）から3年生は三者面談を行い、いよいよ具体的な進路を決定していくという時期になります。

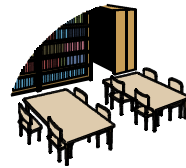
今回の進路だよりでは、「茨城県立高校の推薦入試情報」の紹介と「キャリア教育の推進」について取り上げます。

## <今月の目標>

1年生：自分の特性を知ろう。

2年生：ボランティア活動を積極的に行おう。

3年生：自分の進路を決めよう。



## ◎2010入試情報

☆茨城県公立高校（近隣の高校）の「推薦入試」情報

- ① 推薦入試を受けるためには、所属する学校長の「推薦」が必要です。（その高校にその生徒を推薦することが適切であるかどうかを判断します。）
- ② 普通科は30%以内、その他の学科は50%以内が、推薦入試で受け入れる定員となっています。（ただし、波崎柳川高校の普通科体育コースは、50%以内です。）

学校名	学科名	定員	推薦枠	推薦入試の内容
波崎	普通科	120名	36名以内	各学科において 10分程度の面接
	機械科	40名	20名以内	
	電気科	40名	20名以内	
	工業化学・情報科	40名	20名以内	

波崎柳川	普通科	160名	48名以内	個人面接（8分程度） 作文（50分600字）
	普通科 体育コース	40名	20名以内	個人（8分）集団（15分）面接 作文（50分400字） 実技検査（体育コース）
神栖	普通科	160名	32名以内	個人面接（7分程度） 作文（600字程度）

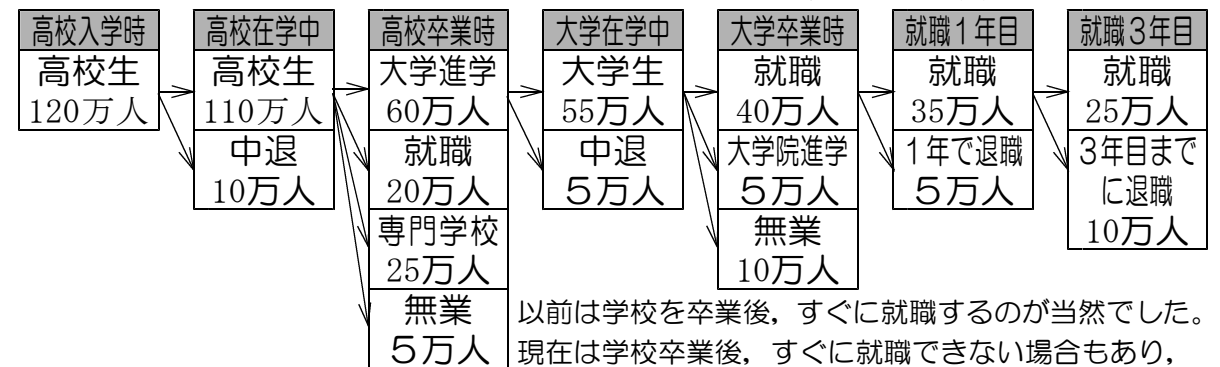
## キャリア教育の推進

### 1. キャリア教育とは

キャリア教育とは、キャリア（経験）を活かして、現在や将来を見据えることなどを主眼として行われる教育のことです。学校教育におけるキャリア教育は、「子ども達がこの激しい社会の変化に対応していく能力、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力、社会人・職業人として自立していくことができる能力」をめざしています。

### 2. 現在のキャリア環境からみたキャリア教育の必要性について

労働政策研究・研修機構 下村英雄先生より



以前は学校を卒業後、すぐに就職するのが当然でした。現在は学校卒業後、すぐに就職できない場合もあり、いろいろなパターンを経て就職しています。

### 3. キャリア教育の本質

「働くこと」「学ぶこと」「生きること」が表裏一体

